

[主なる事業報告]

[公益法人移行第3回]

1. 平成26年度 通常総会 開催

※同会場にて通常総会に先立ち平成26年度第1回研修会が開催され、講師に（公社）全国産業廃棄物連合会の森谷賢氏を招き、（テーマ）「温暖化・大震災と産業廃棄物」について基調講演され、会場は多くの会員企業出席により成功を収めた。

公益社団法人移行3年目を迎え、平成26年度通常総会が平成26年5月23日（金）午後3時マールキュリーホテル（鶴の間）に於いて開催された。来賓として、平素、格段のご指導ご支援を賜っております群馬県知事・群馬県議会議長をはじめ行政・県議会・関係機関を代表する方々の多くのご臨席と会員企業400社超による総会場にて盛大に開会。

開会セレモニーは女性部会役員・適正処理推進員による「環境県ぐんまの創成」掲揚板にご来賓各自より華を添えての華文字掲揚板を当協会女性部会役員・適正処理推進員による総会場に入場後、掲揚の儀が行われ司会進行より「環境県ぐんまの創造」の趣意説明が満席の総会場に述べられた。

議事に先立ち、協会長・名誉顧問第91代内閣大臣福田康夫先生名代衆議院議員福田達夫先生より開会挨拶。

引続き表彰式が執行され、知事顕彰表彰（ぐんま環境フェスティバル開催実行委員会より環境功績賞）は5名の方が受賞され、協会長表彰（組織運営功労賞・適正処理推進功労賞）は、120名の方が受賞され盛況に執り行われた。

議事に入り、本年度は環境世紀の社会ニーズに応じえる公益社団法人としての組織体制の確立を図るべく産業廃棄物処理の適正化推進・循環型社会形成・組織の新たなる発想転換に向けて、協会テーマの「教育と実践」を理念に掲げ行政機関をはじめ関係機関・関係団体のご指導を仰ぎ、「環境と資源の保全」社会機構のニーズに応え本部事業決算統一化を尊厳し、本部と支部組織の連携強化による様々な事業活動を積極的に展開を図るべき上程議案の審議は満場一致により原案通り承認可決され、「飛躍」をテーマに処理業界の更なる発展を期して平成26年度はスタートした。

[公益法人移行第3回]

平成26年度 通常総会 開催 次 第

※総会成立定足数の確認

1. 開 会 の 辞

2. 主 催 者 挨 拶

3. 表 彰 式 執 行

1. 群馬県知事表彰 ぐんま環境フェスティバル開催顕彰(環境功績賞)表彰

2. 協会長表彰 組織運営功労賞

4. 来 賓 祝 辞

来 賓 紹 介

5. 議 長 選 出

6. 議事録署名人の選任

7. 議 事

第1号議案 平成25年度事業報告について

第2号議案 平成25年度収支決算並びに監査報告について

第3号議案 平成26年度事業計画(案)承認について

第4号議案 平成26年度収支予算(案)承認について

第5号議案 そ の 他

8. 閉 会 の 辞



2. 組織の拡大、拡充促進にかかわる会員加盟増強促進について

[概要]

公益社団法人移行3年を迎えて、当組織の更なる充実・健全化に向けてのテーマは組織の新たな発想転換・組織の改革・組織の活性化を図り、「本部事業決算統一化」遵守を基本理念として本部と支部組織の綿密な連携による事業費の軽減策を念頭に事業活動の積極的展開と組織運営の充実健全化にかかわる協会加盟啓発活動による組織の拡大・拡充推進事業を重点課題として積極展開を図った。

1. 会員加盟拡大・拡充促進活動については本部事務局・支部組織との連携により下記事項を注視して会員加盟啓発活動を図った。
 - 1) 処理業許可取得業者への勧誘啓発
 - 2) 未許可業者への処理業許可取得への勧誘
 - 3) 排出事業者への勧誘啓発
 - 4) 処理業許可受講者への勧誘啓発
 - 5) 第三者機関の支援による勧誘加盟増強
2. 協会加盟メリット要領策定配布啓発による勧誘
3. 会員加盟申込要領の策定発信勧誘
 - ①協会概要②協会定款③協会事業概要④協会加盟のメリット作文
 - ⑤協会加盟申込要領⑥広報・事業掲載による会員加盟勧誘⑦その他
4. 協会組織機構に会員拡大推進担当委員職(協会長委嘱)を設置し、会員加盟増強を図る。

3. 組織機構の活性化の促進について

[概要]

公益社団法人移行を期に組織の①発想転換②組織の意識改革③充実健全化などによる公益社団法人組織として活性化の促進を図り、行政機関の指導を仰ぎ、更なる組織・業界の発展構築を目指して事業展開を実施する。

- 1) 活動事項
 - (1)本部組織体制と支部組織体制との連携統一化による普及活動の促進
 - (2)行政機関・関係機関・関係団体との連携活動による促進
 - (3)(上部団体)公益社団法人全国産業廃棄物連合会の指導を仰ぎ、連携促進

2) 組織の資質研鑽向上に関する促進

- (1)各種研修・講習会・講演会の参画及び開催促進
- (2)ホームページの効果的活用促進
- (3)関係機関等の連携による各情報提供による効果的活用促進
- (4)関係機関よりの産業廃棄物処理関連の情報収集及び提供促進
- (5)先進優良事業所等の視察
- (6)その他

3) 関係機関・関係団体との連携促進

- (1)行政機関との連携事業への積極的参画
- (2)行政機関との研究・研修・協議会の参画
- (3)学界・産業団体との連携による研修・講演会参画による
組織レベルアップ

以上、標記組織機構の活性強化促進に向けて積極的展開を図った。

4. 組織・会員及び第三者機関の参画による

資質研鑽に関する研修受講促進事業の実施

〔概要〕

公益社団法人として新たなる発想転換・意識改革・組織の充実活性化を主旨としての事業活動は組織会員企業の資質研鑽向上を図るのみでなく、第三者機関に研修促進にかかわる研修受講勧誘の活動を積極実施し、各関係機関を通じて研修会開催案内を届ける等の第三者機関への研修会受講者拡大促進事業の積極展開を図り第三者機関よりの受講者の参画により成功裡を収めた。

今後も公益社団法人として責務・使命を果たすため会員一丸となつての研修会受講拡大促進活動による相互の研鑽レベルアップを図ることとする。

5. 各種講習会、研修会、講演会の開催

各支部関連研修会開催（報告）

各支部の本年度第1回研修会は各通常総会に先駆けての研修会開催を実施（別表）平成26年4月24日より5月16日間開催。

※各研修会会場は多くの参加と研修テーマにより教育と実践活動は成功裡を収めた。

各支部研修会開催一覧

(自 平成26年4月24日～至 平成26年5月16日)

支部	開催日	講師/テーマ	会場
前橋	平成26年 4月24日	前橋市環境部廃棄物対策課 係長 大山 和宏 氏 「廃棄物処理法の動向等について」	前橋商工会議所
吾妻	平成26年 4月24日	群馬県環境森林部廃棄物・リサイクル課 主幹 深澤 敏克 氏 「廃棄物処理法とその動向」	中之条合同庁舎
富岡	平成26年 4月25日	富岡市経済環境部 部長 齋藤 順一 氏 「富岡市の新エネルギーの取組み及び導入について」	富岡建設会館
桐生	平成26年 5月7日	群馬県東部環境事務所 所長 中島 右 氏 「群馬県における廃棄物処理の状況と課題について」	美喜仁本店
安中	平成26年 5月9日	独立行政法人 自動車事故対策機構 渡邊 美千春 氏 「過積載の危険性について」	安中並木苑
渋川	平成26年 5月9日	公益社団法人群馬県環境資源保全協会 会長 城田 裕司 氏 「産業廃棄物行政の現状と今後の展望について」	渋川中央公民館
太田	平成26年 5月13日	群馬県東部環境事務所 所長 中島 右 氏 「群馬県における廃棄物処理の状況と課題について」	太田建設会館
高崎	平成26年 5月13日	群馬県西部環境事務所 次長 中島 穂泉 氏 「群馬県における廃棄物処理の状況と課題について」	ホテルナガイ
沼田	平成26年 5月14日	公益社団法人群馬県環境資源保全協会 会長 城田 裕司 氏 「産業廃棄物行政の現状と今後の展望について」	沼田建設会館
伊勢崎	平成26年 5月15日	群馬県中部環境事務所 係長 金子 正明 氏 「群馬県における廃棄物処理の状況と課題について」	伊勢崎建設会館
藤岡	平成26年 5月16日	群馬県西部環境事務所 次長 中島 穂泉 氏 「群馬県における廃棄物処理の状況と課題について」	藤岡商工会議所
館林	平成26年 5月16日	群馬県東部環境事務所 所長 中島 右 氏 「群馬県における廃棄物処理の状況と課題について」	(株)関高本社

6. (共催) (公社)全国産業廃棄物連合会と(公社)群馬県環境資源保全協会による産業廃棄物処理実務者研修会開催 (報告)

開催日	平成26年11月28日(受講受付Am9:00開始)
会場	群馬建設会館 大ホール
受講者	206名
受講代	7,000円(資料代終了証交付含む)

上部組織と連携による処理業者他の廃棄物処理業に関する処理委託等適正処理推進事業に係る要綱研修は、教育と実践活動に向けた受講者のレベルアップ資質向上を図った。

協会事務局より第三者機関宛に受講拡大勧誘の活動を積極展開により第三者機関より多くの受講参加により成功裡を収めた。



7. (県共催) 平成26年度4ブロック研修会開催 (報告)

[概要]

4ブロック研修会開催は、行政機関のご指導を仰ぎ12支部組織を東西南北の4ブロックに区域を分けての各支部連携強化による開催運營業務は

- ①本部事務局にて会場の日程交渉
- ②講師派遣及び打合せ
- ③研修資料作成
- ④各会員企業をはじめ関係機関に開催案内発送他
- ⑤各ブロックとの開催運営協議
- ⑥各ブロック開催会場設営
- ⑦受講者受付業務
- ⑧受講終了証交付業務

支部事業は、ボランティア活動としての取組みにより4ブロック研修会は大成功裡を収めた。

受講者は協会企業・第三者機関より受講参加拡大は勧誘活動により協会のみならず、相互の資質研鑽を図るべき公益社団法人組織として責務・使命を果たすべき啓発事業を展開。

開催の成果は各4ブロック会場に於いて、協会企業・行政機関・第三者機関など700社超の受講者にて満席となり、成功裡を収めた。

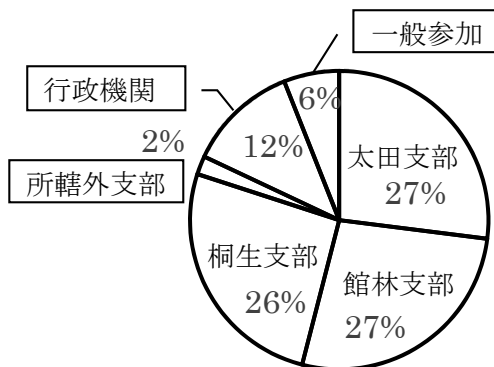
(県共催) 平成26年度 産官学連携 4ブロック研修会 開催
各ブロック別研修会受講者(業別)集計一覧

太田会場

開催日時：平成27年1月26日(月)PM11:00
開催会場：太田市社会教育総合センター

所属支部 他	受講者数
太田支部	60
館林支部	60
桐生支部	58
所轄外の支部	3
行政機関	27
一般参加	12
受講者 合計人数	220

太田会場 受講者の割合

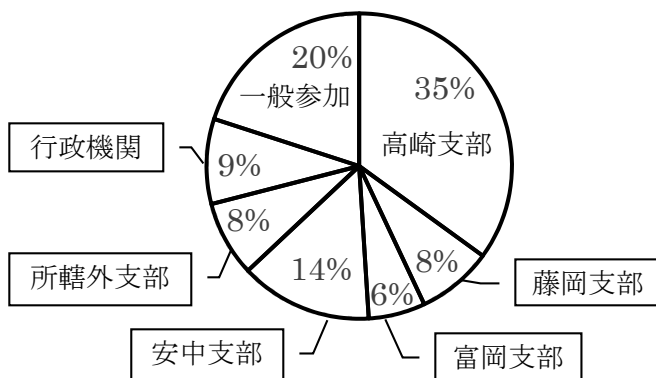


高崎会場

開催日時：平成27年1月27日(火)PM1:00
開催会場：高崎市総合福祉センター(エッグホール)

所属支部 他	受講者数
高崎支部	75
藤岡支部	17
富岡支部	12
安中支部	29
所轄外の支部	17
行政機関	20
一般参加	43
受講者 合計人数	213

高崎会場 受講者の割合

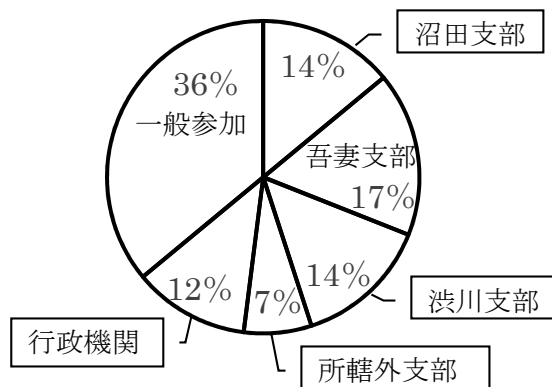


渋川会場

開催日時：平成27年1月29日(木)PM11:00
開催会場：渋川市民会館(小ホール)

所属支部 他	受講者数
沼田支部	33
吾妻支部	39
渋川支部	32
所轄外の支部	15
行政機関	27
一般参加	83
受講者 合計人数	229

渋川会場 受講者の割合

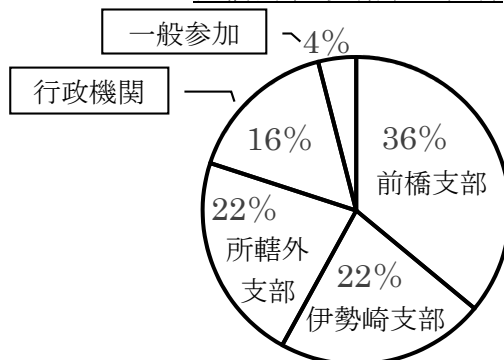


前橋会場

開催日時：平成27年2月12日(木)PM1:00
開催会場：群馬建設会館(大ホール)

所属支部 他	受講者数
前橋支部	89
伊勢崎支部	53
所轄外の支部	54
行政機関	38
一般参加	9
受講者 合計人数	243

前橋会場 受講者の割合



[各ブロック研修会場の概要]

ブロック	開催日 会場	講師／テーマ	受講者数
太田	平成 27 年 1 月 26 日 太田社会教育 総合センター	<p>テーマ 「群馬県土砂条例について」 講師 県廃棄物・リサイクル課 係長 星野 毅 氏</p> <p>テーマ 「大気汚染防止法に基づく石綿飛散」 講師 県環境保全課 技師 大隅 達也 氏</p> <p>テーマ 「廃棄物事犯の現状と対策」 講師 県警察本部生活環境課 警視 青山 正幸 氏</p> <p>テーマ 「水利用の現状とこれからの水処理」 講師 群馬大学理工学部 教授 渡邊 智秀 氏</p>	220 名
高崎	平成 27 年 1 月 27 日 高崎市総合 福祉センター	<p>テーマ 「群馬県土砂条例について」 講師 県廃棄物・リサイクル課 係長 星野 毅 氏</p> <p>テーマ 「大気汚染防止法に基づく石綿飛散」 講師 県環境保全課 技師 大隅 達也 氏</p> <p>テーマ 「最近の暴力団情勢と対策について」 講師 県警察本部刑事部組織犯罪対策第一課 警部 大澤 孝志 氏</p> <p>テーマ 「農業や環境問題と放射線」 講師 日本原子力開発機構 ユニット長 小林 泰彦 氏</p>	213 名
渋川	平成 27 年 1 月 29 日 渋川市民会館	<p>テーマ 「群馬県土砂条例について」 講師 県廃棄物・リサイクル課 係長 星野 毅 氏</p> <p>テーマ 「大気汚染防止法に基づく石綿飛散」 講師 県環境保全課 技師 大隅 達也 氏</p> <p>テーマ 「廃棄物事犯の現状と対策」 講師 県警察本部生活環境課 警視 青山 正幸 氏</p> <p>テーマ 「ハツ場ダム 湖面に映える橋梁群について」 講師 前橋工科大学 学長 辻 幸和 氏</p>	229 名
前橋	平成 26 年 2 月 12 日 群馬建設会館	<p>テーマ 「群馬県土砂条例について」 講師 県廃棄物・リサイクル課 係長 星野 毅 氏</p> <p>テーマ 「大気汚染防止法に基づく石綿飛散」 講師 県環境保全課 技師 大隅 達也 氏</p> <p>テーマ 「廃棄物事犯の現状と対策」 講師 県警察本部生活環境課 警視 青山 正幸 氏</p> <p>テーマ 「排水の電気分解 －排水から資源・エネルギー回収－」 講師 前橋工科大学 教授 田中 恒夫 氏</p>	243 名

(県共催) 平成26年度4ブロック研修会開催状況



太田会場



高崎会場



渋川会場



前橋会場

8. 情報収集推進事業

[概要]

(公社)群馬県環境資源保全協会は、会員企業は基より関連企業と連携し、情報収集による資質研鑽向上を図り、業界のレベルアップを目指し、情報収集推進による下記の情報収集を組入れての実践活動を展開した。

記

- ①ホームページの効果的活用
- ②廃棄物処理業者情報の提供
- ③協会活動のメディア活用による情報提供
- ④業界会報を活用しての効果促進
- ⑤産業廃棄物に関する情報収集及び会員への提供

9. 公益法人制度移行関連事業及び組織改革事業の実施

当協会は公益社団法人移行認定を取得し、協会組織の新たなる改革、進展を目指すこととして、県行政機関をはじめ関係指導機関、上部団体(公益社団法人全国産業廃棄物連合会)のご指導ご支援を仰ぎ、平成24年4月1日(日)前橋地方法務局に移行申請が認可され25年度は公益社団法人群馬県環境資源保全協会の名称により処理業界の更なる発展に寄与すべく、行政機関のご指導を仰ぎ、関係機関、関係団体、関係企業、県民との連絡強化に邁進し、地域社会の一翼を担い得る協会組織として、環境の保全、資源の保全、資源循環型社会の構築を目指し、様々な事業展開を図った。

履歴事項全部証明書	
群馬県前橋市虹野町一丁目7番12号 公益社団法人群馬県環境資源保全協会 会社法人等番号 0700-03-08324	
名称	公益社団法人群馬県環境資源保全協会
主たる事務所	群馬県前橋市虹野町一丁目7番12号住宅公社 群馬県前橋市虹野町一丁目7番12号 平成24年5月22日変更 平成24年6月13日登記
法人の公布方法	主たる事務所の所在地である「住宅公社」の「公示版」に掲載する方法による。
法人成立の年月日	平成1年4月1日
目的等	<p>目的 本協会は、産業廃棄物処理の推進に向けて排出業者並びに取扱業者及び処理業者の経営の活性化、施設整備の推進等、27年度の環境政策に関する調査研究、研修、普及啓発などの事業を行い、環境保全対策並びに廃棄物の処理及び再利用に関する法律等に基づき、もって国民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。</p> <p>事業 本協会は、上記の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 産業廃棄物の適正な処理に関する情報収集・提供等普及事業 (2) 産業廃棄物処理適正化と円滑化に関する推進事業 (3) 産業廃棄物処理の適正化に関するエコポイント推進事業 (4) 産業廃棄物の適正な処理に関する調査・研究等事業 (5) 行政・関係機関・関係団体等との連携による普及啓発事業 (6) 関連産業の経営改善に関する事業 (7) 優良化推進モデル施設等推進事業 (8) 関係団体・施設等と協賛による環境政策に関する事業 (9) 処理業者・業界会との資質研修に関する研修会・講習会等の開催事業 (10) 環境保全基金の活用による生活環境並びに資質研修の確保に関する事業 (11) 環境保全による生活環境の推進を図るための環境教育施設建設推進事業 (12) 関係行政機関の推進事業に受託する事業 (13) その他公益目的を達成するために必要な事業</p>
登記簿に関する事項	平成24年4月1日公益社団法人群馬県環境資源保全協会を名称変更し、移行したことにより設立 平成24年4月1日登記

これは登記簿に記載されている開示されていない事項の全部であることを証明した書面である。 平成24年4月26日
前橋地方法務局 登記官 羽石研造



(県共催)産官学連携
ぐんま環境フェスティバル開催



不法投棄防止啓発街頭キャンペーン状況



廃棄物収集運搬車両一斉調査事業



不法投棄防止立看板設置活動